

く^{KUNIMI}にみ 議会だより

No.201
12月議会号

議会だよりは
議会ホームページからも
ご覧になれます



地域農業を守る！ 亡きじいちゃんとの約束

ひろむ
徳江の八巻大夢さんは、幼いときから農業を手伝い、高校、大学も農業一筋。米10町5反、桃1町4反余りを耕作し、大きなトラクター・コンバインなどを乗りこなす。米のふるさと納税への参入、桃のお茶の開発、スマート農業、法人化を目指す。その根底には、今は亡きじいちゃんの農業への丁寧な熱い思いが宿っている。

12月定例会

町内会要望に基づく修繕工事費等を
補正(令和5年度補正予算) P2

一般質問(人口減少対策について等5人が登壇) P5
議会報告懇談会・常任委員会・特別委員会 P11、12
一部事務組合 P13
私もひとこと P16

町内会要望に基づく 修繕工事費等を補正

令和5年度一般会計補正予算(第5号)は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ6億2880万円を追加し、予算総額67億7769万円とすること
を全員賛成で可決しました。

主な歳出は、地方財政法第7条に基づく歳計剰余金処分(繰上償還)、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業、ふるさと国見町応援寄付金事業、町道改良舗装事業、防災行政無線更新事業などです。

令和5年度一般会計 補正予算(第5号)のおもな内容

【主な事業】	
・防犯灯およびカーブミラー設置・修繕	526万円
・ふるさと振興基金積立金	5172万円
・戸籍情報システムおよび住民記録システム改修	1103万円
・住民税非課税世帯および均等割世帯に対する臨時特別給付金	5705万円
・農業用水路改修工事	450万円
・林道等整備工事	215万円
・町道等修繕工事	1500万円
・町道改良舗装工事	4150万円
・公園施設、調整池等の施設修繕工事	557万円
・町営住宅修繕工事	588万円
・防災行政無線施設整備工事	2768万円
・令和6年度使用教科書・指導書等図書購入	692万円
・繰上償還(元金)および定期償還に係る利子	2億1674万円
・その他	1億7780万円
計	6億2880万円

【主な財源】	
・国県支出金	1億2779万円
・地方債	7580万円
・その他	1億1184万円
・一般財源	3億1337万円
計	6億2880万円

質疑

問 (蒲倉 孝議員)
町道修繕工事費1500万円および4150万円はこの町道か。

建設課長 工事請負費の路線数は13路線、道路橋梁新設改良工事費は2路線で、町道4078号線は昨年度から工事しており、事業促進のための補正である。

問 (蒲倉 孝議員)
県道白石国見線と立体交差になっている町道1072・1060・1062号線の凹凸はいつになったら修繕するのか。

建設課長 今後、修繕工法と時期等を検討する。

問 (山崎健吉議員)
防犯灯費196万円、機器設置費167万円はこの工事がか。

住民防災課長 防犯灯11灯分の補正増で、当初計上分と合わせ町内会要望19灯の実施を予定している。

住民防災課長 防犯灯11灯分の補正増で、当初計上分と合わせ町内会要望19灯の実施を予定している。

問 (渡辺勝弘議員)
まちなかタクシー事業277万円増の詳細について伺う。

住民防災課長 人件費・燃料費および車両維持修繕費の増額分である。

問 (佐藤 孝議員)
住民防災課および教育委員会部局の超過勤務手当100万円補正増の詳細は。

総務課長 令和5年度当初予算は、令和4年度の現員現給で計上している。また、教育委員会の組織替えに伴い人事配置が変わったことも大きな開きの理由と考えられる。

問 (佐藤 孝議員)
超過勤務は昨年対比でどう変化しているか。

総務課長 職員衛生委員会の資料では、前年対比30パーセント減少している。

問 (山崎健吉議員)
都市計画工事請負費556万円はこの公園か。

建設課長 国見ニュータウン内の歴史公園、光の公園等々の修繕工事で計上している。

問 (小林聖治議員)
タウンミーティングでの町内会要望は、回答通り予算要求はされたか何う。

住民防災課長 対応可能としては、今回の補正予算に計上している。

建設課長 対応すると言った分については、今回計上している。

町長 今年度の町内会要望は全部で約220ある。

長い間の継続要望について、解消に向けて取り組みたい。

今年度の当初予算は3000万円の決定を頂いた。9月補正予算では1500万円の補正予算を認めていただいた。

今後、途切れない対応で、今年度出来るもの、財政および予算上で厳しいものは、来年度当初予算に組入れ対応し、補助金や交付金を活用し一般財源の支出を抑えていく。



工事中の町道(石母田地区)

条例改正

町の付属機関委員等の報酬額を改正

国見町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

(要旨) 付属機関の委員等の報酬の額の改正及び文言の整理をするものです。

(全員賛成で可決)

国見町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

国見町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国見町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

(要旨) 県人事委員会勧告に基づく給料表の改正及び期末手当の改定等を行うものです。

(全員賛成で可決)

職員の分限の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例

(要旨) 職員の給与に関する条例の一部改正等による関連条例24件の条項整理及び必要な文言の整理を一括で改正するものです。

(全員賛成で可決)

国見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(要旨) 地方税法等の一部改正により、出産予定または出産した被保険者の国保税を減額する届出に関する条項を追加するものです。

国見町水道事業の業務に従事する職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例

(要旨) 水道事業職員の降給及び給料の調整額の条項の追加並びに文言の整理を行うものです。

(全員賛成で可決)



みなさんからの 陳情

12月定例会では陳情2件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情	福島県医療労働組合連合会 執行委員長 高橋 勝行	採択
健康保険証廃止の中止を求める陳情書	福島県社会保障推進協議会 会長 佐藤 和久	継続審査

※議長は採決に参加しない。



委員会で採択された陳情1件について、意見書をまとめました。
議会で諮り可決されたため、意見書を提出しました。

意見書

12月定例会では意見書1件を可決し、国など関係機関へ送付しました。

国民の命と健康を守るため、
政府の責任ですべての医療・
介護従事者の処遇改善と人
員増を求める意見書

医療・介護従事者の賃金引上げなど処遇の改善で人材を確保し、安全・安心の医療・介護体制を築くため、診療報酬・介護報酬の大幅引き上げを行うよう求めるもの。

可決
(全員賛成)

町長の行政報告 (抜粋)

12月定例会初日、町長より提出議案の説明と9月定例会以降12月定例会までの間の行政報告がありました。 ※提出議案についてはP2・3をご覧ください

*報告事項(抜粋)

- 新型コロナウイルスワクチン接種
- 敬老会
- 低所得世帯と子育てへの物価高騰対策
- 高齢者や障がいなどの買い物や暮らしの質を維持、向上するタクシー利用補助実証事業
- 伊達地方衛生処理組合ごみ焼却施設建設
- おさかのおか「大坂オフィス」
- 滝川と滑川河川改修
- 結婚世話焼き人
- 山崎前柳地内の燃料保管状況
- 出産・子育て応援事業
- 町内会要望と意見交換・タウンミーティング
- 国見学園コミュニティ・スクール
- プレミアム商品券事業
- 部活動地域移行推進協議会
- 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
- 文化祭
- あつかし歴史館事業
- 中小企業・小規模企業の振興
- 農作物への鳥獣被害対策
- 事務執行適正化第三者委員会
- 高規格救急自動車
- 移住・定住支援について
- 福島ユナイテッドFCとのホームタウン協定について
- クニミノマド事業
- 義経まつり

～5人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般
質問

12月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議員	質問事項	ページ
宍戸 武志	当町の人口減少対策とふくしま田園中枢都市について	6
山崎 健吉	通学路及び廃校となった周辺の整備状況について	7
	来年度（令和6年度）の予算編成について	
蒲倉 孝	藤田駅前ロータリー改善について	8
	幼稚園の入園、小学校・中学校の入学時費用負担支援の検討について	
	バイオ燃料撤去の進捗について	
	国見版CI（コーポレート・アイデンティティ）策定検討委員会の進捗について	
小林 聖治	観月台文化センター体育館跡地について	9
	町職員の健康状況について	
渡辺 勝弘	「広報くにみ」の町長コラムについて	10
渡辺 勝弘	地元企業の動向と今後の企業誘致について	10

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

Q 当町の人口減少とふくしま田園 中枢都市について

A 圏域の市町村と共に、町の独自性を発揮し 未来につながる国見町を創っていく



高橋 武志議員

問 全国的な人口減少が一段と加速している。当町では1950年をピークに減少に転じており、2020年は8644人の人口は2040年は6252人、2060年4029人と予想されているが、この予想に修正・変更はないか。

課長 修正・変更はない。第6次総計は、策定後5年の令和7年度に見直すこととなっており、その時点で修正の判断をする。

問 共同通信社の首長アンケートによると、県内59市町

村では「消滅しかねない」との回答が約9割にのぼった。このうち「強い危機感を抱いている」が29市町村、「ある程度危機感を抱いている」が当町も含めて24市町村。当町では、どのような分析・根拠を持って回答したのか伺う。

課長 当町では、個々の政策を着実に実践してゆくことにより、持続可能な町政運営は可能であると考える。よって、ある程度と回答をした。

問 地方人口増策の一つは、外国人労働者の雇用がある。外国人労働者の受け入れアンケートについては、当町は「町の基幹産業、農業への受け入れの検討を始めた」との回答をしている。この件について根拠等伺う。

課長 工業団地の造成は先行投資のリスクもある。現時点での計画はない。進出したい企業があれば、企業の要望に応じたオーダーメイド方式で対応したい。

課長 当町の農業従事者数は、平成17年から令和2年の15年間で4割以上減少し、65歳以上の割合も8割を超えるなど、後継者と労働力不足に直面している。これらの課題を解決する一手法として、外国人の受け入れに向けた検討も必要と判断し回答した。

課長 工業団地の造成は先行投資のリスクもある。現時点での計画はない。進出したい企業があれば、企業の要望に応じたオーダーメイド方式で対応したい。

問 人口対策（雇用）・財政対策（税収確保）の面から、企業誘致は必要であると再々申し上げてき

課長 工業団地の造成は先行投資のリスクもある。現時点での計画はない。進出したい企業があれば、企業の要望に応じたオーダーメイド方式で対応したい。

た。見解を伺う。

課長 工業団地の造成は先行投資のリスクもある。現時点での計画はない。進出したい企業があれば、企業の要望に応じたオーダーメイド方式で対応したい。

課長 工業団地の造成は先行投資のリスクもある。現時点での計画はない。進出したい企業があれば、企業の要望に応じたオーダーメイド方式で対応したい。

問 人口減対策から、福島市を中心とした「連携中枢都市圏構想」がある。現在までの、広域連携の取り組み状況について伺う。

課長 34の連携

課長 34の連携

課長 地理的・歴史的に深いつながりをもつ圏域の市町村と共に、お互いに必要と考える施策について連携しながら、圏域全体の経済成長を促し、住民サービスの向上を図れるよう取り組みを推進する。

課長 地理的・歴史的に深いつながりをもつ圏域の市町村と共に、お互いに必要と考える施策について連携しながら、圏域全体の経済成長を促し、住民サービスの向上を図れるよう取り組みを推進する。

課長 地理的・歴史的に深いつながりをもつ圏域の市町村と共に、お互いに必要と考える施策について連携しながら、圏域全体の経済成長を促し、住民サービスの向上を図れるよう取り組みを推進する。

問 核として連携を主導する市には、各市町村と補い合う関係を構築することが求められている。半

課長 地理的・歴史的に深いつながりをもつ圏域の市町村と共に、お互いに必要と考える施策について連携しながら、圏域全体の経済成長を促し、住民サービスの向上を図れるよう取り組みを推進する。

Q 通学路及び廃校となった周辺の整備状況は

A 危険箇所については安全対策を行っていく 廃校後の周辺環境整備とプールの排水は 検討していく

問 通学路の指定は、法律により、

学校長が児童生徒の安全を確保するために、指定しなければならぬとされているが、通学路として指定している通学路数はどのくらいあるのか。

教育施設課 課長 学校が保護者などと

協議し、集団登校する班ごとに設定するもので、現在は25本の通学路を指定している。またスクールゾーンについては、公安委員会が、学校を中心に約500

mの範囲内に4ヶ所指定している。

問 東日本大震災時に、当時指定

されていた通学路が、災害により、迂回して通学路としたと聞いているが、現在の通学路はどのように変更されたのか。

教育施設課 課長 東日本大震災時は、

迂回とした経緯はあるが、通学路は毎年、保護者と、学校が協議して決めている。

問 町が、通学路の標識を作成し

設置している箇所があるが、反対方向には設置されていない。反対方向から侵入する車への注意喚起は必要と思うが。

教育施設課 課長 全ての通

学路に設置はしていないが、安全上必要と思われる箇所については、対応していきたい。

問 通学路に指定

されている道路に、地震によってブロック塀が破損し、いまだに赤色コーンがあり、大変危険と思われる箇所が数か所ある。町の補助事業の対象となっているが、補助数は、現在何件か、またこの危険箇所の通学路はどのように対応するのか。

建設課 課長 現時点で16件の実績がある

が、通学路に面した、倒壊の危険があるブロック塀については、現在改善を促している。

問 各地区の小学校が、国見小学

校に統廃合してから11年以上経過しているが、周辺の草木が伸び放題であったり、プールの水がそのままになっている箇所がある。特に夏場はプールに溜まった水の匂いが周辺の環境上好ましくないが、どのように管理しているのか。

住民防災課 課長 以前、消

防水利と

して、残した経過があるが、環境上の問題があれば、水を抜くよう対処したい。

来年度の予算 編成について

問 町は、令和4

年度から過疎地域に指定されている。財政が厳しい中、来年度の主な取り組みについて伺う。

町長

来年度の予算編成について

は、過疎計画の着実な実践と、第6次総合計画に掲げる基本理念の実現を目指し、町民の生活や地域経済の発展に資する施策に重点的に取り組む。そのためには、全職員のコスト意識を醸成し、現状の把握と分析、前例に捉われない、過疎債以外の十分な財源捻出のための工夫が重要である。



山崎健吉議員



排水されないプール

Q 送迎車の混雑状況から、藤田駅前ロータリーの改善(駅前広場整備計画)について進捗状況を伺う

A 基本設計を行うための、測量・調査が完了し、年度内に全体のレイアウトを作成する



蒲倉 孝議員

問 既存東口ロータリー改善が優先と思うが、西口の開発は検討しているのか伺う。

地域ではあるが、全体のまちづくり計画で検討したい。

建設課長 タウンミーティングでも話が出ており、市街化調整区域のため抑制される

問 毎朝、猛スピードで駅前に向かう車両があり、危険だとの匿名の投書が私にあり、福島北警察署

にあり、福島北警察署



送迎車両が入り出す藤田駅前

桑折分庁舎へは、パトロールの強化をお願いしたが、町としての安全対策等は行っているか伺う。

住民防災課長 交通安全協会として

交通安全の啓発や、広報車による交通安全の呼びかけを行っている。

また、駅前広場整備計画にて安全対策を優先して進めていく。

幼稚園入園、小・中学校入学時支援について

問 3月議会定例会にて答弁いただいた、令和6年度予算への反映および検討について伺う。

子育て支援に

町長 ついては、給付とサービスの両面からの支援が必要と考える。

現在、ももサポや放課後塾ハルなど様々な支援、また出産子育て支援給付金などの給付による支援を行っている。

来年度の当初予算については、総合的に検討していく。

問 アンケートについて、現在0

歳児から3歳児の保護者の方へは行っているか伺う。

教育総務課長 保育所に入所する保護者の方には毎年実施している。さらに今年度は、第3期国見町子ども子育て支援事業計画策定のため、0歳から12歳までの子どもを持つ全ての保護者へアンケートを実施し、ニーズ調査を行う。

問 観月台体育館跡地については、タウンミーティングなどで意見および要望を伺い検討するとの事だが結果を伺う。

生涯学習課長 高齢者の

存続を望む意見があった一方、若い方からは広い敷地に機能が充実した体育館の整備要望もあった。

また、親子が楽しめる施設・防災機能を持

つ施設・冷暖房機能のある運動施設などの声もいただいている。

問 人口減少対策として、関係人口を増やす施策について、例えば国見ニュータウンに建設した子育て住宅のような施策は今後も考えていくのか伺う。

町長 民間所有の空き地・空き家の有効活用や、住宅供給という形で行政がある程度の財政支出をするという覚悟をし、住宅供給を行っていかねばいけないと思う。

※この他左記の質問も行っていきます

- ・バイオ燃料撤去の進捗について
- ・国見版C-1策定検討委員会の進捗について

Q 町職員の病気休暇の状況、中途退職者の増加についてどう感じているのか

A 良い職場環境の実現を図りながら、優秀な人材を採用できるように検討していく

問 この延べ9人の職員の方々の病気休暇を、個人の問題と考えているのか、それとも組織の問題と考えているのか。

総務課長 病気になるのは、その人の問題であらうと思うが、組織としてはそれをカバーするべく、対策をきちんとして検討しているバックヤードは持っているものと考えている。

は悩ましい課題ではある。一つの方法としては、人事で配慮していくという方法があるかと思うが、小さい職場なので、すべてに目が行き届くということではできない場合もあるので、そこは理解していただきたい。

。最長3年間の休職が可能だが、その期間は無給となる。

「広報くにみ」の町長コラムについて

問 広報なので、町民の皆さんに向けて書いていると思われるが、町長の感想のようなものをコラムで表現することによって意味があるのか。そもそも、そういうニーズがあるのか。

町長 月に一度ではあるが、その間にあつた町の出来事、それについて町長の思いとか所感を記すのは、問題はないと思う。市町村長のコラムに關して言えば、よその自治体でもやっていることではある。町の広報でもあるので、町民に向かつての情報発信のひとつであらうと思っている。

問 優秀な職員の退職が相次ぐ一方、病気休暇を取得する職員が増加しているが、その理由をどう考えているのか。

総務課長 疾病を除いたものとしてはストレス、家庭なのか、職場なのか、環境の変化なのか様々だと思う。そういったものが要因となっているのではないかと考えている。

問 今、環境の変化が理由のひとつで、職

総務課長 一般論となるが、対人関係等ではないかと思われる。

問 今年度、病気休暇を取得した職員は何人いるのか。

総務課長 今年まで、新型コロナウイルス感染症があり、インフルエンザという流行性のももあり、これらを除くと延べ9人ということになる。

問 私も、職員としての病気休暇というのでは、一見個人の問題でないかと思われるのだが、もう一つの側面として組織の問題でもあると考えている。そういったことをマネジメントで解決していか

総務課長 国見町のような小さい組織で

問 病気休暇を取得している職員の給料は、どのようになっているのか。

総務課長 原則90日まで額保証される。成人病又は精神疾患の場合については、180日まで全額、それを超える

と休職という扱いになる。なお、休職の場合でも、公務災害による場合は、その期間中は全額、結核性疾患による場合は2年間まで8割、それ以外の場合については1年まで8割ということになっている。



小林聖治議員

な小さい組織で

国見町のような小さい組織で

国見町のような小さい組織で

Q 企業のニーズを把握するため、
商工会への入会促進を

A 町と商工会との連携を図り、意見を
出す場を設けたい



渡辺勝弘議員

応援してくれることを願っている。

新たに起業した事業所等を速やかに把握する事は難しいが、町・商工会・金融機関等が月1回情報交換の場を設け、把握に努めている。

問 企業の様々な要望や困り事などは、町は十分に捉えているのか。

産業振興課長 6月から33社の企業訪問を実施し、課題や要望を直接お伺いしている。今後、町内事業所がさらに発展できるように商工会と連携を図りながら施策に反映していきたい。

問 町の開発を推進する上で事業資金不足があれば、議員共々県・国に対して要望すべきであるが、今後どの方向に導きたいのか。

町長 当然、今より良くしたい。まずは、町と商工会との連携が重要である。商工業の振興を図り、国見町住民の幸福度を上げることをしっかりとやる。その後に、意見を出す場を設ける必要がある。対話形式の意見交換により振興を図りたい。

問 稼げる企業を誘致する基礎として、地元企業の数を把握しているのか。

産業振興課長 令和3年6月に実施した経済センサス活動調査では、町内に31の事業所がある。

問 地元企業は全てが商工会会員ではないため様々な業種を把握できない状況にあるが町ではどの様に把握しているのか。

産業振興課長 今は、パソコン1つで起業が可能であり、

問 かつて地元有力者が中心となり存在した企業会がなくなり、企業間の繋がりがなく、情報もなくなっている状況をどのように捉えているのか。

産業振興課長 事業者間の繋がりがりや交流などは重要なことで、今後、情報交換の場を設けたい。

問 商工会との連携を図ること

で、新しい情報を素早く正確に発信できるのではないのか。

産業振興課長 町の目指す目的は、商工業の発展である。町ができる事があれば推進していく。

問 地元企業の要望にできる限り応えることによって、企業同士の繋がりが増え、新たな企業誘致に繋がるのではないのか。

産業振興課長 町、商工会、金融機関などがしっかりと連携し意見交換する場を設けることにより、すべての事業所が国見町内での事業展開に満足して頂けるよう引き続き努める。

問 柏葉祭の発表で地元に戻りた

いかとの質問に、数人しか手を挙げなかったことをどのように捉えているか。

教育長 質問の場面は、総合発表前の緊張を解きほぐすための生徒たちの仕掛けで、生徒の創作したシナリオと受け

取った。

中1の職場訪問、中2の職場体験、中3の子ども議会で、地域を知り、地域を体験し、まちづくりの提言まで

継続して取り組んでいる。国見の魅力、課題、可能性をみつけ、ふるさとへの思いを育んでいる。国見に育てられたとの思いを醸成し、

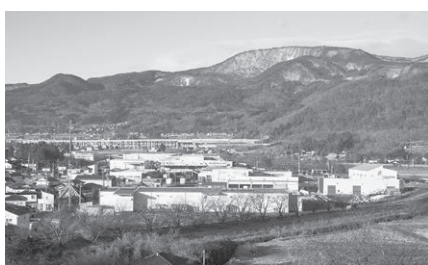
中1の職場訪問、中2の職場体験、中3の子ども議会で、地域を知り、地域を体験し、まちづくりの提言まで

継続して取り組んでいる。国見の魅力、課題、可能性をみつけ、ふるさとへの思いを育んでいる。国見に育てられたとの思いを醸成し、

中1の職場訪問、中2の職場体験、中3の子ども議会で、地域を知り、地域を体験し、まちづくりの提言まで

継続して取り組んでいる。国見の魅力、課題、可能性をみつけ、ふるさとへの思いを育んでいる。国見に育てられたとの思いを醸成し、

継続して取り組んでいる。国見の魅力、課題、可能性をみつけ、ふるさとへの思いを育んでいる。国見に育てられたとの思いを醸成し、



山崎工業団地

町民の皆さんと意見交換

議会報告懇談会報告

議会基本条例に基づき、10月28日(土)観月台文化センター大研修室で町民の皆様25名の参加のもと、議会報告懇談会を開催いたしました。

議員から参加に対し、9月議会定例会(決算認定、補正予算等)、及び常任委員会活動について説明、報告の後、意見交換を行いました。



主な意見・答弁

(一部要約・抜粋)

問

藤田病院の敷地内建った件、国見メデアデバイスの南側に寮ができる件の経緯の回答をお願いしたい。

答

詳しくは後日回答

*藤田総合病院事務長より資料提供(アインホールディングスへの町所有用地貸し出しの件)
○病院敷地内薬局及び福利厚生費施設等整備事業
○公募(令和4年3月16日)公告(令和4年3月16日)公募型プロポーザル方式
参加①株式会社アインホールディングス②日本調剤株式会社
○審査結果・株式会社アイ



ンホールディングスを優先交渉権者に選考

○福利厚生施設・職員寮の建設及び貸与(交渉の中で*BOT方式の提案あり)
●病院を中心半径1kmの場所に建設を要望
●駅前の国見町所有の土地をアイン薬局が借りて建設
*BOT方式・民間が建物を作り公的機関に貸し出す(20年後に無償譲渡)
●契約関係・基本協定書締結 令和4年5月30日
●薬局開局・令和5年1月4日

●福利厚生施設(職員寮)部屋数・16部屋 令和5年10月31日(引き渡し完了)病院組合議会全員協議会において協議済み。

問

高規格救急車の研究開発についていろいろ疑問はあるが、今後百条委員会を設置し、中途半端にすることなく進めてほしい。

答

10月31日の臨時議会で、議員提案の百条委員会設置決議が可決されれば、しっかりと追及していきたい。

問

懇談会開催の時期は、町内会の行事等がある時期でなく、開始時間もいろんな形で検討いただきたい。

答

以前は5ヶ所、議員の割り振りで開催。参加者が少なく、昨年からは、観月台文化センター1ヶ所で開催した。いろいろなご意見をいただいております。次回は、開催日、開催場所、開催回数等を検討する。

問

議会の活動について、定例会の時に議会のライブ中継があるが、仕事、学生、子育ての方が見られない。後で配信するなどできないか。

答

今後、ウェブ配信の後、パソコンなどで録画を見られるように検討したい。案内ができるようになれば報告したい。



総務文教常任委員会

■令和5年10月10日

企画調整課所管事務調査

(委員会室)

産業建設常任委員会との合同で高規格救急自動車研究開発事業について、町執行部からの説明を求め、質疑を行いました。

■令和5年12月5日

陳情の審議について

(委員会室)

●陳情の審議について
①「全ての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情」について審議の結果、採択すべきと決定しました。
②「健康保険証廃止の中止

を求める陳情」について審議を行い、マイナンバーカードの普及が進んでいることから、引き続き継続して審議すべきと決定しました。

●国見町議会個人情報保護条例の一部を改正する条例について
原案について一部文言の修正等を行い、追加議案として提案することを決定しました。

産業建設常任委員会

■令和5年11月20日

上下水道課所管事務調査
(福島市堀河町終末処理場)

県北流域下水道へ接続する福島市堀河町終末処理場の現地調査を行いました。

堀河町終末処理場は合流式(汚水・雨水)下水道で、一日最大2万2000m³が徳江の県北浄化センターへ流され、現在大雨時の阿武隈川放流問題の課題改善にむけた改善工事中です。

会議では、阿武隈川右岸へ横断する配管等に関する質疑が行われました。また、環境を守る会から県北浄化センターに出されている要望事項について、その具体的な対応策と進捗状況の質疑が活発に行われました。

■令和5年11月20日
住民防災課所管事務調査
(中会議室)

伊達地方衛生処理組合が新たに建設を計画している



福島市堀河町にある終末処理場現地調査の様子

「ガス化溶融炉」に関し、地元の環境管理や保全対策、地域振興策などを盛り込む協定書案が示され、質疑を行いました。

高規格救急自動車研究開発事業 事務調査特別委員会

10月31日の臨時議会で設置された「高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会」が開催されました。

第4回委員会(11月27日)

伊達消防組合職員1名および町職員2名への参考人質問を行いました。また、法的助言者の選任について、第6回委員会の証人喚問出頭要請者の確認などを協議しました。

第5回委員会(12月7日)
次回証人喚問者への質問内容について、第8回委員会の証人喚問について、参考人質問の検証について、追加資料請求についてなどを協議しました。

第1回委員会(10月31日)
正副委員長の互選が行われ、委員長に佐藤孝議員、副委員長に小林聖治議員を選出しました。

第6回委員会(12月22日)
町職員4名に対する証人喚問を行いました。また、第8回委員会の証人喚問出頭要請者の確認などを協議しました。

第2回委員会(10月31日)
資料請求について、証人・参考人出頭要請について、委員会の基本的運営についてなどを協議しました。

第3回委員会(11月13日)
資料請求の回答について、参考人決定について、次回委員会の運営についてなどを協議しました。

第4回委員会(11月27日)
伊達消防組合職員1名および町職員2名への参考人質問を行いました。また、法的助言者の選任について、第6回委員会の証人喚問出頭要請者の確認などを協議しました。

第5回委員会(12月7日)
次回証人喚問者への質問内容について、第8回委員会の証人喚問について、参考人質問の検証について、追加資料請求についてなどを協議しました。

※
一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

副議長に齊藤謙氏
を選出

公立藤田病院組合議会

11月1日に第3回議定会
例会が開催され、令和4年
度決算は原案のとおり認定
されました。

また、副議長の選挙が行
われ、桑折町選出の齊藤謙
氏が選任されました。

令和4年度決算認定

◆収益的収支決算額

収入 68億8033万円
支出 66億8940万円

◆資本的収支決算額

収入 6563万円
支出 7億286万円

(収支差引不足分は、過年
度分損益勘定留保資金で補
いました)

(報告者 蒲倉 孝)

議長に半澤高氏が
再選

伊達地方衛生処理
組合議会

11月1日に第2回議定会
例会が開催され令和4年度
決算認定をはじめ8件につ
いての審議が行われ、すべ
て原案のとおり可決・承認
されました。

また、組合議会議長に、
桑折町選出の半澤高氏が再
選されました。

令和4年度決算認定

歳入 11億7059万円
歳出 11億5401万円

(決算額は一般会計、し尿
処理事業特別会計、ごみ処
理事業特別会計の合計)

(報告者 渡辺勝弘)

渡辺勝弘議員が
伊達地方消防組
合表彰を受賞

伊達地方消防組合議会

10月30日に第4回議定会
例会が開催され、令和4年
度決算認定等2件の審議が
行われ、いずれも原案のと
おり可決・認定されました。

令和4年度決算認定

歳入 20億499万円
歳出 19億7979万円

なお、定例会に先立ち、
長年にわたり組合議員を務
めた渡辺勝弘議員が消防組
合表彰を受けました。

(報告者 小林聖治)



伊達地方消防組合議員として
表彰を受けた渡辺勝弘議員

令和5年
第6回
臨時会

令和5年第6回臨時会が10月31日に開催され、工事請負契約1件、物品(高規格救急自動車)の譲与6件、および特別委員会を設置する決議1件の合計8つの議案が審議されました。結果は以下に記載のとおりとなりました。

※下記以外の議案は全員賛成で可決されています。

議案等	議員名	議決結果	佐藤多真恵	菊地勝芳	佐藤孝	蒲倉孝	八巻喜治郎	穴戸武志	山崎健吉	小林聖治	渡辺勝弘	松浦常雄
議案第56~61号 物品の譲与について(6件)		可決	○	病欠	●	○	○	○	○	●	○	○
発議第7号 高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会を設置する決議		可決	●	病欠	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 □：討論者 ※議長(佐藤定男)は採決に加わらない。

議員活動報告

(令和5年9月定例会から令和5年12月定例会前まで)

9月4日	令和5年第5回定例会(～14日) 全員協議会
9月8日	議会運営委員会
9月10日	市町村対抗野球大会(福島市)
9月13日	総務文教常任委員会 総務文教・産業建設合同常任委員会
9月14日	議会運営委員会 全員協議会
9月16日	敬老会
9月21日	広報常任委員会
9月23日	義経まつり
9月27日	例月出納検査 福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)
9月29日	広報常任委員会
10月4日	広報常任委員会
10月10日	総務文教・産業建設合同常任委員会 議員懇談会
10月12日	伊達郡町村議会議長会要望活動(福島市)
10月13日	表彰審査会
10月14日	国見小学校学習発表会
10月15日	県北中学校柏葉祭
10月19日	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会(伊達市)
10月20日	議員懇談会
10月22日	市町村対抗ソフトボール大会(相馬市)
10月23日	町村議会議員研修会(郡山市)
10月25日	例月出納検査 国見の里開設10周年記念式典
10月26日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査
10月28日	議会報告懇談会 全員協議会
10月29日	町駅伝競走大会 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会国見町 チーム結団式

10月30日	伊達地方消防組合議会定例会(伊達市) 議会運営委員会 全員協議会
10月31日	令和5年第6回臨時会 第1回高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会 第2回高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会
11月1日	公立藤田病院組合議会定例会 伊達地方衛生処理組合議会定例会(伊達市)
11月10日	阿武隈川上流流域下水道県北浄化センター環境保全協議会
11月13日	第1回高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会幹事会 第3回高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会
11月14日	定期監査(～24日)
11月17日	公立藤田総合病院宿舍見学会
11月19日	市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(白河市他)
11月20日	国見町表彰式 産業建設常任委員会(福島市) 議会運営委員会
11月22日	全員協議会 議員懇談会
11月26日	小坂まちづくりの会そばまつり
11月27日	第4回高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会 例月出納検査
11月28日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査 伊達郡町村議会議長会(福島市) 伊達郡振興懇談会(福島市)
11月29日	町村議会議長全国大会・研修会(東京都) 定期監査講評
11月30日	国見町・桑折町交通安全町民大会

傍聴者からの

声



12月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりご意見をいただきました。(抜粋)

- 議会の魅力を取り戻してほしい。町民の議会に対する関心が低い。(70代・男性)
- 救急車問題で、国見町の課題対応は停滞している。一日も早く膿を出し、町民に信頼される役場を再構築してほしい。(60代・男性)
- 丁寧な説明だったと思いますが、町職員の考え方は消極的だと思います。もっと積極的に自らが動かないと町の発展は望めないです。(年代不明・女性)
- 救急車等の問題は早めに決着し、本来の業務・議会に戻してほしい。(70代・男性)

議員活動 Photo



新人議員研修会



伊達郡議会議員大会



只見町議視察研修



只見町議視察 & 宇都宮救急車保管場所視察



高規格救急自動車研究開発
事業事務調査特別委員会
準備・委員会風景



ふるさとへのユーターン

庭のかたすみの菊を摘む

体を起こしては西の方半田山、東の方霊山、はるかに吾妻山と安達太良山を眺める。

これは中国東晋時代の詩人陶淵明の「飲酒」の一節をもじったもの。陶淵明は職を辞し、田舎に戻り酒を楽しんだと言われている。宮城沖地震損害で改築した我が家は、東日本大震災では幸い無傷に近かった事から町に住民登録を戻した。転居後は在職中の仕事をまとめ、音楽を楽しみ、ガーデニング等、陶淵明のような暮らしを考えていたが、日常生活に時間をとられ、加齢に伴う体調の劣化、年金減額等、優雅な田舎暮らしには高いハードルが次々と出てく

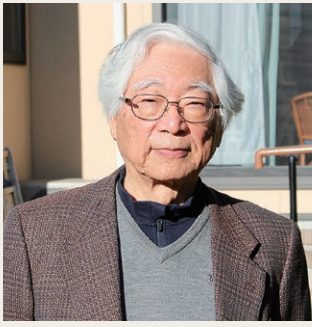
るのだ。

それなりに賑やかだった商店街はシャッター通りとなり、人口は約半分になった。ストロー効果で若い世代が都市に吸い上げられ戻らなくなった。静かな町は隠遁生活には適しているようだが、それなりのサポート体制があつてのこと。身近な生活基盤が崩壊しない工夫と努力は、言うは易く行うは難しを実感する。

耕作放棄地が目立つ今、セイタカアワダチソウの黄色い花、雑木林化した畑、手入れ不十分で実をつけたまま枯死寸前の果樹、サル等の跋扈も目に付く。これらは農業従事者の減少や高齢化、生活維持が困難でやむを得ず廃業、転職するためである。

広い目でみれば自然に戻すことはカーボンニュートラルに寄与することになるが単純に喜ぶ事であろうか。

旅に病んでゆめは枯野を駆け巡る
(松尾芭蕉)



秦 正弘さん

(大町南町内会)

議員のなり手不足と 議会改革について考える

町村議会議員研修会

令和5年10月23日、郡山市のビッグパレットふくしまで開催された町村議会議員研修会に参加しました。

まず、「地方議会のあり方・活性化について」と題し、東京大学大学院法学政治学研究所の金井利之教授の講演がありました。

首長・議員以外の人もも議論を行うことが重要であるとのことでした。

次に、「これからの政局・政治の行方」と題して、ジャーナリストの岩田公雄氏より、世界情勢に関することや岸田内閣の今後の動向など興味深い講演をいただきました。

(報告者 佐藤定男)



ウクライナの戦争が続く中、突如始まったハマスとイスラエルの戦闘は、多数の死傷者を出し、一般市民に計り知れない恐怖と苦痛をもたらしています。

これらの戦争を止められない国際社会の無力にやりきれない憤りを感じます。

一日も早い戦争の終結と人々の平和な日常生活を強く願わずにはいられません。

国内では、新型コロナウイルスの5類移行後半年あまり、ようやく通常の生活が戻ってきましたが、台風や猛暑など様々な自然災害がありました。今年は穏やかな年であることを祈りたいと思います。

議会だより12月議会号をお届けします。編集委員一同これから読みやすい議会だよりを心がけてまいります。(松浦 常雄)

発行責任者

議長

佐藤 定男

副委員長

蒲倉 孝

委員

佐藤 多真恵

同

佐藤 定男

同

松浦 常雄

同

佐藤 孝

同

菊地 勝芳